

第84回神奈川県メーデー宣言

私たちは、本日、「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」をメインスローガンに、メーデーの原点である「労働時間短縮」や「賃金引き上げ」、「消費税増税反対、社会保障充実」「震災復興」「憲法を守ろう」などの要求を掲げ、第84回神奈川県メーデーを開催しました。

◆すべての労働者・県民のみなさん

2011年3月11日の東日本大震災から早くも2年目を迎えました。被災地は今なお生活基盤と雇用を取り戻すことができず、福島第一原子力発電所周辺地域においては復興のめどすら立っていない状況にあります。今後も、「労働者の暮らし、安定した雇用の確立なくして復興・再生なし」という立場で復興支援にとりくむとともに、被災者の生活をさらに痛めつけ、復旧・復興に逆行する「消費税の増税・社会保障の削減」などの安倍内閣の悪政にストップをかけるべく団結して闘いましょう。

大型公共工事中止、膨れ上がった軍事費の削減、政党助成金の廃止などによって震災復興の財源を生み出し、大もうけを上げている大企業と大資産家に応分適正な負担を求め、社会保障拡充の財源をつくりだすという、「国民本位の改革」を実現させていきましょう。

◆すべての労働者・県民のみなさん

今、日本の社会は、労働者・国民を犠牲にし大企業の儲けを最優先する新自由主義の動きが急激に進行しています。非正規労働者は全雇用労働者の35%を上回り、年収200万円以下で働くワーキングプアと言われる層は1100万人近くにおよび、生活保護受給者は210万人以上になっています。

安倍内閣のもとで、労働・雇用分野の規制緩和の議論が活発化しています。金銭解決を含めた解雇の自由化、労働時間規制の緩和と適用除外制度の導入、有期雇用や派遣労働の規制緩和など、労働者保護の根幹を破壊し、「労働者の命よりも大企業・財界の儲けを優先する」政治が進行しています。

◆すべての労働者・県民のみなさん

社会を変えるのは、私達一人一人の労働者の声であり、団結の力です。職場で、地域で私達の願いを語り合い、交流し、その実現のためにどうするべきかを学び合いましょう。

国政、地方の政治を、労働者・県民の願いを実現する政治へと切り替え、誰もが安心して働き、暮らしていける職場と地域を実現させていきましょう。

第84回神奈川県メーデーを機に、労働者・県民の要求実現をめざし、すべての労働者・県民の力を総結集させていくことを呼びかけます。

働くものの団結で、暮らしと雇用を守ろう！原発のない安全な日本を実現しよう！